

## 【第5回 関西日本ラトビア協会 総会開催】

日時：2013年7月23日（火）12時～14時  
 場所：ダイワロイネットホテル四ツ橋

総会では、駐日大使ペーテリス・ヴァイヴァルス氏の本国への帰任と、在大阪ラトビア共和国名誉領事・東郷武氏の石橋民生氏への引継ぎ表明という2つの大きな話題がありました。

7年間、在日本特命全権大使を務められたペーテリス・ヴァイヴァルス大使が退任しラトビアに帰任されるため、送別会を兼ねて、関西日本ラトビア協会の総会と懇親会が開催されました。総会ではヴァイヴァルス大使からラトビアの近況などについて興味深い話をいただき、懇親会では歌手の小田陽子さんにお越しいただき「マーラが与えた人生」「アドロ」など素敵な歌声を披露いただきました。小田陽子さんは、1984年に「百万本のバラ」をリリースしたプロ歌手ですが、実はこの歌の原曲はラトビアの「マーラが与えた人生」という歌でした。それがご縁でラトビアの大ファンになられ、当協会の活動にもご協力をいただいております。多くの方に参加いただいた懇親会の後は、東郷名誉領事はじめ会員有志が大使とともに日本三景の一つ「天橋立」を望む大和ハウスの宮津ロイヤルホテルへ一泊の懇親旅行も開催し、大使の慰労と親睦を図りました。



【出席者】（敬称略）荒木美眞 有友美智男 池田裕子 石橋民生 石原美生子 今城考司 上野慶三 大槻恭正 岡崎明日香 小田陽子  
 金井雅孝 木村咲子 木村宗光 小林正明 小原英明 権藤美佐子 酒見信義 佐竹竜俊 佐々木實 正司泰一郎 竹村 肇 橋英三郎  
 谷本瑞絵 鶴丸時長 寺岡志郎 東郷 武 東郷久野 鳥尾二郎 夏目 剛 蓮池 寛 濱田加津子 早川明弘 東田正巳 藤田凱三  
 藤本昌男 古田晴彦 古田 睦 堀田健二 堀田育子 益田信行 山原一晃

【来賓および留学生等】（敬称略）

ペーテリス・ヴァイヴァルス特命全権大使 浅野尚未（外務省大阪分室長） 松田高明（神戸市国際交流部長） オルガ・アントニョノカ  
 イエヴァ・トレッティウカ レイニス・ウッドリス アレックス・グロムス ザハラカ・シグネ ダナ・アンティボヴァ

【関西日本ラトビア協会 会報 第8号 主な掲載内容】

- |                            |                            |
|----------------------------|----------------------------|
| 1 第5回関西日本ラトビア協会 理事会・総会開催   | 8 リガのクリスマスツリー点灯式           |
| 2 ヴァイヴァルス大使の送別旅行（宮津・天橋立）   | 9 JASSO 留学生国際交流フェスに名誉領事が参加 |
| 3 ラトビア・デザイン・デイズ開催（名古屋）     | 10 ラトビアトークサロン新年会（名誉領事邸）    |
| 4 リガ「音楽祭」報告                | 11 ダナさんの講演（阪急百貨店うめだ本店）     |
| 5 ラトビアのお祭り「夏至祭」お祝い会（名誉領事邸） | 12 ペンケ大使の久元神戸市長表敬訪問        |
| 6 ザトレス前大統領ご夫妻の来阪           | 13 ラトビア企業の関西訪問             |
| 7 新大使ノルマンズ・ペンケ大使の歓迎会       | 14 リガ神戸姉妹都市提携40周年記念事業      |

**【理事会】** 総会に先駆けて開催された理事会では、ペーテリス・ヴァイヴァルス大使の2013年8月ラトビアへの帰国と8月後半に新しいラトビア共和国大使ノルマンズ・ペンケ氏の来日される件、ならびに東郷理事長が在大阪ラトビア共和国名誉領事を退任し、後任として現在大和ハウス工業（株）副社長の石橋民生氏が新しい名誉領事になることが発表されました。その他には、東郷理事長はこの5年間名誉領事を努めてきたことを振り返り、就任間もない頃や「関西日本ラトビア協会」を設立したころの話をされました。



理事会風景



左からダナさん、大使、東郷名誉領事、石橋民生氏

**【総会】** 総会では、東郷理事長からご自身の名誉領事退任と石橋副社長が後任のとして就任されることが発表され、石橋副社長から挨拶がありました。引き続きヴァイヴァルス大使の講演が行われ、東郷名誉領事はじめ協会の皆さんの長年にわたる協力に対して感謝の意を示され、後任のペンケ氏の紹介をされました。最後にヴァイヴァルス大使へ協会を池田裕子理事から代表して記念品が贈られました。懇親会では、ヴァイヴァルス大使を囲み、参加者の全員が楽しいひと時を過ごしました。懇親会の特別ゲスト小田陽子さんの素晴らしい歌と「Dāvāja Mariņa（マールが与えた人生）」の演奏を楽しみながら、ラトビアの留学生などのゲストとの交流を行いました。



東郷武理事長と石橋民生副社長の挨拶



ヴァイヴァルス大使の挨拶、通訳のダナさん

### 【ヴァイヴァルス大使の講演内容】

ヴァイヴァルス大使は、ラトビア共和国大使を努めてきた7年間を振り返り、今年8月にはラトビアへ帰国し外務省で仕事を続けることなどについて話されました。そして、新しいラトビア大使ノルマンズ・ペンケ氏のことを紹介し、彼の来日の予定を知らせました。

その他には、日本とラトビアの国際関係とこれからの交流活動について話され、最近のラトビア経済の状況を紹介しました。ラトビアの経済はますます回復し、2014年1月1日よりラトビアの通貨ラツツの代わりに、ユーロを導入する予定です。

ラトビアの首都リガが2014年にEUの文化首都に選択され、様々な面白いイベントが開催される予定です。さらに、2015年にラトビアがEU連合国理事会議長国になるので、2014年と2015年には、ぜひリガを訪れてほしいと述べられました。大使は、今年のラトビア「歌と踊りの祭典」に日本の合唱団が参加したことや、関西日本ラトビア協会のメンバー数がすでに170人にも達したことなど、ラトビアと日本の交流が活発に行われていることをたいへん喜んでおられ、「これからも日本やラトビアなどの国で皆様との再会を楽しみにしています」と、今まで努力してくださった協会のメンバーに感謝の言葉を述べられました。

### 【懇親会】

今回は参加したラトビア人の人数が増えました。留学生は4人、オルガ・アントノカさんとイエヴァ・トレツィウカさん、レイニス・ウッドリスさんと新しく来たシグネ・ザハラカさん。そして、社会人の2人、アレックス・グロムスさんとダナ・アンティポヴァさん。合わせて、6人も参加しました。特別ゲストとして、小田陽子さんを迎え、素晴らしい歌を演奏や美味しい料理や面白い話を楽しんでいました。



ラトビア留学生の皆さんのスピーチ



谷本理事から大使へのプレゼント



小田陽子さんが「Davaja Mariņa」を披露

**【関西日本ラトビア協会 収支報告書】（平成24年4月1日～平成25年3月31日）（単位：円）**

		今年度	前年度
前期繰越金		1,090,591	1,222,468
収入の部	年会費等	408,000	566,000
	総会等催事会費	446,000	477,155
	受取利息	237	237
	合計	854,237	1,043,392
支出の部	総会等催事支出	567,970	607,091
	広告宣伝費	73,710	391,700
	バルザム購入代	144,706	73,710
	交際費・雑費	10,500	84,007
合計	796,886	1,175,269	
次期繰越金		1,197,942	1090,591

※ 収支報告書については、監事（橘英三郎氏、寺岡志郎氏）より監査を受けて承認済みです。



ヴァイヴァルス大使を囲んで参加者全員で記念撮影(宮津ロイヤルホテルにて)

**【ヴァイヴァルス大使の送別旅行】**

総会の終了後は、宮津にてヴァイヴァルス大使の送別旅行が、東郷理事長ご夫妻をはじめ協会有志が参加して開催されました。

**【1日目 7月23日（火）】 懇親会と宿泊（宮津ロイヤルホテル）**

有志20名は、車に分乗して大阪を出発し、宿泊先の宮津ロイヤルホテルに向かいました。ホテル到着後、ヴァイヴァルス大使の送別パーティーを行い、宮津のご馳走や美しい自然、温泉などを楽しみました。

**【2日目 7月24日(水)】 観光**

前日は大雨でしたが、観光当日はいい天気に恵まれて、参加者の全員がホテルのスタッフと共にバスに乗って、天橋立や伊根町を観光しました。

午前中は、日本三景天橋立の美しい景色を見学したり、小さな船に乗ってカモメにエサをやったり、歴史深い神社やお寺などの面白い観光スポットを尋ねたりして、楽しいひと時を過ごしました。

午後は、ホテルでお昼ご飯をいただいた上で、大阪に戻りました。ヴァイヴァルス大使は仕事や帰国の準備で忙しくて、大阪に到着後すぐに東京に戻りました。



天橋立の背景を楽しむ上野さん



寺岡さんと木村さん



カモメにエサをやるダナさん



バスで楽しく観光



天橋立をバックに記念写真

**「ラトビア・デザイン・デイズ」が名古屋で開催 2013年6月1日**

名古屋市星が丘の「レクサス星ヶ丘ショールーム」にてラトビアの雑貨を展示即売するイベント「ラトビア・デザイン・デイズ」が開催され、大阪から東郷名誉領事ほか関西日本ラトビア協会会員有志が参加しました。



ヴァイヴァルス大使と投資開発公社アリナ代表 ハイセンスなラトビアの雑貨



**【参加ブランド(抜粋)】**

**Munio Candela(ムニオ・カンデラ)** ラトビアで手摘みされる天然のハーブとソイワックスのオーガニックなキャンドルを中心としたラインナップが世界中で支持されています。URL:<http://munio-candela.jp/>



STENDERS(ステンダース) 世界で最も緑が多い国ラトビアの豊かな自然の幸をふんだんに使用したオーガニックで体に優しいバス・トイレタリーのブランドです。URL:<http://www.stenders.jp/>



EMILS GUSTAVS(エミルス・グスタフス) 100年以上前より伝統的にチョコレートの産地として有名なラトビアで新しく生まれたチョコレートのアーティストです。豊富なバリエーションに加え、口に含むと変化する変わり種まで全て職人たちが一つ一つ手作りしています。URL:<http://www.emilsgustavs.jp>



### ラトビア・リガ「音楽祭」報告 2013年6月29日～7月7日 上野慶三常務理事撮影

■ラトビアのリガで開催された5年に一度の「音楽祭」は、今回も想像を絶するほど素晴らしいものでした。このフェスティバルは、森の公園 (Mezaparka) の広大なステージでの「音楽祭」と、世界遺産のリガ旧市街に延々と続く絢爛な「パレード」の祭典です。ユネスコ無形文化遺産に登録されている中でも人気度がトップクラスとされています。



■音楽祭は10時から始まり、広大なステージで15,000人くらいの人が一斉に歌います。何度も入れ替わって、コーラスが主のステージ、音楽隊が主のステージ、ダンスが主のステージが有り、それぞれステージが人で埋め尽くされて圧巻です。ステージに出演中の人だけでもすごいのに、その2倍以上の人が出場のため待機しています。観客はその数倍で「森の公園」を埋め尽くしています。

■パレードはリガ旧市街で、朝の10時から始まります。ラトビア国中から5年かけて予選大会を勝ち抜き選ばれたチームが参加できます。各地域の人々の民族衣装はすべて異なり、地域の代表としての旗を持って行進します。パレードは延々と続き、リガ旧市街は観光客も含めて数十万人が深夜まで楽しんでます。それでも日本以上に治安が良いので、事故や事件はゼロで、これはすごいことです。

■日本から東京の音楽協会と、神戸市混声合唱団が、音楽祭とパレードに参加しました。ぜひ次回5年後の音楽祭にはJLSKとしてパレードに参加したいです。



(左) 日本ラトビア音楽協会の加藤春生専務理事と上野慶三関西日本ラトビア協会常務理事



■ラトビアのこの音楽祭のスケジュールは、日本では考えられないくらいクレイジーです。

6月29日からいろんな催しがはじまり、クライマックスは、7月6日の10時～17時30分の「前夜祭」と言うか「予行演習」です。

■この日の方が人も多く集まり盛大で私は好きです。すごいのは、「予行演習」が終わっても、自宅がリガ近辺の人たちは、24時頃まで練習します。そして自宅に帰れない遠くから来たチームは、翌朝4時ぐらいまで練習するのが、正規のスケジュールとなっています。

■7月7日10時～15時までが「パレード」です。その後は、練習したり休憩したりして19時に「森の公園」に集合して「音楽祭」の本番です。23時ごろに中締めのようなものがありますが、実際には翌朝の4時まで正式なスケジュールで延々と歌い踊り続けられています。

■音楽祭のステージに出ない人達や、会場に入場できない人達は、ドーム教会前など別の会場で、音楽祭に負けないくらい盛大に朝まで歌い踊り続けます。

### ラトビアのお祭り「夏至祭」を東郷名誉領事邸でお祝いしました 2013年6月22日

欧米や北欧諸国には夏至日を祝う風習があるそうですが、ラトビアでも夏至祭は庶民の大切なイベントです。ラトビアにおける夏至祭はヤーニス（Janis）を祝う伝統にさかのぼるといわれます。自然との共生を大事にするラトビアの国民は大きな焚火をたいて、最も日照時間の長い大切な日を翌朝まで伝統的な衣装を着て踊りや歌に興じます。その風習をならって、東郷名誉領事がお自宅にラトビアの留学生たちを招いて、花飾りを作ったり、ビールに黒パンやチーズなどのラトビアの食べ物を楽しみながら夏至祭を満喫しました。





焚火を囲んで参加者全員で記念撮影



## ラトビア前大統領ヴァルデイス・ザトレルスご夫妻が来阪

関西日本ラトビア協会有志と関西の観光を楽しみました 2013年10月10日～15日

ヴァルデイス・ザトレルス前大統領が、2013年10月に奥さんのリリタさんとSPのエドムンズさんと一緒にプライベートで日本を訪れ、東郷武理事長ご夫妻をはじめラトビア協会の有志が秋の関西をご案内しました。



長浜ロイヤルホテル（滋賀県長浜市）にて



宝塚市の東郷名誉領事邸にて記念品をプレゼント



ザトレルス前大統領は去年大きな手術を受けて、リハビリ期間中でした。半年前はほぼ歩けない状況だったそうですが、順調に回復されておられ日本に来てからもますます元気が出て、ご夫妻で十分楽しむことができました。

お二人は18年も前から日本を訪問したいという夢をもっていました、忙しくてなかなか行けなかったそうです。そしてやっとその夢を実現することができました。今回の訪問の予定は東京と琵琶湖、大阪、京都、奈良、富士市などでした。

10月10日（木）にゲストの3名は関西に到着し、長浜ロイヤルホテル（滋賀県長浜市）にて宿泊しました。夕食は琵琶湖の幸などのご馳走をいただき、日本の温泉もとても楽しんでいました。ザトレス前大統領は3回も温泉に入り、「元気が出て、生まれ変わったように感じた」とおっしゃいました。

11日は長浜の黒壁と京都の金閣寺を見学し、12日は裏千家の先生を招待して、東郷理事長のお宅でお茶会を開きました。奥さんのリリタさんは着物を着ると喜んでいて、「違和感が全くなくて、今までずっと着物を着てきたように感じた」と述べました。着物を着せて頂いた東郷理事長の奥さん・久野さんに大感謝です。お茶会の後に大阪城を見学し、抹茶のソフトクリームなどを味わいました。

13日は奈良の興福寺と東大寺、奈良公園の見学でした。「昔の伝統を持つ仏教の世界に触れることができたのは一生に忘れられない経験になりました。」前大統領夫婦は特に奈良の鹿に興味を持って、喜んで鹿煎餅を食べさせたり、可愛いらしい鹿をなでたりしていました。そして、奈良公園で関西学院大学の学生たちに声がかけられて、学生たちと一緒に写真を撮りました。



ザトレス前大統領は大学生に大人気



奈良公園で

14日は京都の観光で、二条城や清水寺を見学し、祇園では舞妓さんなどの日本の伝統文化のパフォーマンスを楽しみました。その次の日にゲストは富士市の方へ出発しました。

この旅はザトレス前大統領の奥さんへのプレゼントでした。二人はこの旅行で最も感じたかったのは、「日本の心」です。そして、お世話になった関西ラトビア協会のメンバーのおかげでその心を感じることができたそうです。「病気で苦しんできたころを地獄のように思い出し、今回の日本への旅は天国のようでした。」と感激してくださいました。

ザトレス前大統領の健康回復を心からお祈りしたいと思います。

今回の大統領の訪問に際して、ご協力していただいた関西ラトビア協会の皆さん、誠にありがとうございました。



お茶のお手前を楽しみました



着物で記念写真



大阪駅のショッピングモールでラトビア産の食品を発見

東京のラトビア大使館にて独立記念祝賀会に名誉領事が参加 2013年11月18日



ペンケ大使ご夫妻を囲んで



ペンケ大使ご夫妻と石橋民生ご夫妻



大使館ダナ・ルダークさん（左橋）投資開発公社  
アリナ・アシェチュブコワさん（右橋）



井下佳和在旭川名誉領事（右端）

リガのクリスマスツリー点灯式 2013年12月6日 上野慶三常務理事撮影

1510年発祥の世界最古のクリスマスツリーが点灯しました。18時半からカウントダウンして点灯されました。指揮者のタクトが振られると、コーラスメンバーだけでなく集まった人達が歌い踊りだしたりして感動的でした。



点灯前



点灯後



ベルジンス大統領夫妻を囲んで

ベルジンス大統領夫妻も来て気楽に集まった人達と写真を撮っていました。私が写真を撮っていると、今まで2回会ったことが有るので大統領が日本人の私を見つけてくれて一緒に写真を撮るように誘ってくれました。私のカメラでは撮っていないので一緒に撮った写真は手に入らず残念です。

「JASSO 留学生国際交流フェス」で留学生の皆さんと懇親 2013年12月12日



ダービスさんと名誉領事

JASSO（日本学生支援機構）の教育機関「大阪日本語教育センター」が例年開催する「JASSO 留学生国際交流フェス」に、東郷武名誉領事ほか関西日本ラトビア協会のメンバーが参加しました。本イベントは、センターで日本語を学ぶ留学生と支援者が集い、留学生が感謝の気持ちを込めてお国自慢の歌や踊りを披露し、互いに交流と親睦を図るイベントです。様々なパフォーマンスやおいしい料理を楽しみ、センター在生と卒業生も含めて様々な国の皆さんと親睦を深めました。当日は一人のラトビア人留学生も参加していました。Davis Kemlersさんは大阪で日本語を勉強され、今年からは大学でITを学ぶ予定です。2013年1月放送の読売テレビ「かんさい情報ネットten!」でも紹介された方でした。番組では奈良のお餅屋さんで餅つきを体験するなど活躍の様子でした。

## ノルマンズ・ペンケ大使の歓迎会 2013年12月17日

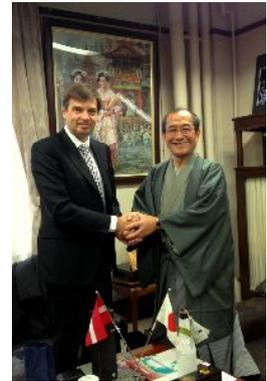
2013年8月、ヴァイヴァルス大使の後任として、ノルマンズ・ペンケ氏が駐日ラトビア共和国大使に任命され来日しました。ペンケ大使は1992年よりラトビア外務省に勤めておられ、様々な分野を担当してこられました。これまでにイギリス、アイルランド、ロシアの大使やニューヨークで国連のラトビア代表を歴任されています。



ベルジンス大統領から任命されるペンケ大使



大川大作京都市長を表敬訪問



駐日ラトビア大使に着任されたノルマンズ・ペンケ氏が在大阪ラトビア共和国名誉領事館を訪れました。東郷武名誉領事、石橋民生大和ハウス工業副社長（次期名誉領事）と懇談された後、関西日本ラトビア協会のメンバー有志による歓迎会にも参加されました。歓迎会では中華料理店の円卓を囲み、おいしい料理と楽しい話で盛り上がりとても早く時間が過ぎました。ペンケ大使は、着任挨拶と自己紹介をされた後、現在のラトビア共和国の状況についても話されました。また東郷名誉領事の長年にわたる友好活動に対する感謝の言葉を述べられ、ラトビア外務省から名誉領事への感謝状を手渡されました。突然のうれしいサプライズに参加者全員で喜びを分かち合いました。



在大阪名誉領事館にて



大阪マルビル 中華料理イーフーにて懇親会

## ラトビアトークサロン新年会 宝塚・東郷名誉領事邸にて 2014年1月18日

ラトビア留学生7名を迎え、日本の伝統文化に触れながら楽しい新年会が開かれました



百人一首を楽しむレイニスさん



そば打ちを体験



お手前をするダナさん



東郷久野名誉領事の着付けで勢ぞろい  
左からイエヴァさん・ダナさん・オルガさん・ルータさん・鶴田さん

### 神戸市国際親善パーティに東郷名誉領事が参加 2014年1月15日

恒例の神戸市主催の新年互例会が開催され、東郷名誉領事が参加されました。昨年11月に神戸市長に就任された久元喜造市長ご夫妻を始め神戸市関係の皆様と懇親を深められました。市長夫人の久元祐子さんはピアニストとして世界的に著名な方で、東京の日本ラトビア音楽協会の理事をされるなど、ラトビアとはご縁のある方です。



久元喜造神戸市長ご夫妻と



久元祐子市長夫人と歓談する東郷名誉領事  
右は神戸市国際交流推進部長松田氏

### ダナ・アンティポヴァさんが阪急百貨店にてラトビアについて講演を行いました 2014年2月5日

ラトビアの手作りニットや木製の工芸品などの展示会が開催されました。阪急百貨店うめだ本店の会場でダナさんがラトビアの歴史や文化などについてプレゼンテーションを行い会場の皆さんは興味深く聞き入っていました。



阪急百貨店うめだ本店 10階ホールにて



投資開発公社アリナさんとダナさん



東郷名誉領事ほか協会有志が応援に



民族衣装に身を包んだダナさん

## ペンケ大使が東郷武名誉領事とともに神戸市の久元喜造市長を表敬訪問

2014年3月14日

ノルマンズ・ペンケ大使が東郷武名誉領事とともに神戸市の久元喜造市長を表敬訪問されました。今年はラトビアの首都リガ市と神戸市が姉妹都市提携40周年を迎えます。6月にはリガ市から神戸へ、8月末には神戸市からリガ市へ交互に訪問団が予定されています。表敬訪問後は友好の象徴である「リガの森」（神戸市北区の森林植物園内）を訪れ、白樺などの記念植樹を視察されました。



久元市長と記念品の交換



神戸市の皆さんと森林植物園を視察

## ペンケ大使が来阪 大阪心斎橋のヴォーグ学園にてラトビアを紹介する講演を行いました

2014年3月14日

定期刊行物の雑誌「毛糸だま」「キルトジャパン」などの出版物を通して、手づくりの手芸の楽しさを伝えている日本ヴォーグ社が主催してヴォーグ学園心斎橋校にてラトビアの伝統民芸品である手編みミトンを紹介する講演とワークショップが行われました。東京からペンケ大使も参加し、ラトビアの文化、手芸とミトンについてお話されました。あたたかい家族的な雰囲気の中、参加者はラトビア手芸の特長などを興味深く聞いて、日本とラトビアの手芸文化の共通点に驚いていました。講演の最後には質疑応答があり、参加者からラトビアの食べ物やリガの野外民俗博物館などについて質問がありました。日本ヴォーグ社のメンバーが今年の6月にラトビアへ旅行し、ラトビアの手芸についてより深く取材し、文化交流を行う予定だそうです。同様の講演会は3月12日に東京でも開催されました。



大阪心斎橋ヴォーグ学園での講演風景



東京会場での講演風景

ラトビアのオペラ歌手クリスティアニス・ノルヴェリスさん  
和製オペラ「ちゃんちき」に出演 2014年3月15日

兵庫県立芸術文化センターにて、ラトビアのオペラ歌手クリスティアニス・ノルヴェリスさんが、和製オペラ「ちゃんちき」に出演。狐の親子と騙し合いをする「獺（かわうそ）のかわ兵衛」役を絶妙な三河弁でコミカルに演じました。狂言師・茂山千三郎による狂言の様式を用いた斬新な舞台、和楽器とオーケストラが見事に融合した美しく壮大な音楽、思わず踊りだしたくなる楽しいシーンが満載の世代を超えて楽しめるオペラでした。



公演後の楽屋で 獺のかわ兵衛のメイクのままのノルヴェリスさん  
(右から2人目)を囲んで



團伊玖磨壮年期のオペラ『ちゃんちき』チラシ

ラトビアから木材関係の企業の代表が関西を訪問 2014年4月1日～2日



大和ハウス工業 総合技術研究所で免振技術を体験 (左)



午後は、奈良工場を視察 (中・右)

関西を訪れたのは、Latvia Timber International, LTD、Apsītes AG, Ltd.、Pallogs, Ltd.、Eibe L, Ltd.、Eko Nams, Ltd.、Rīgas pašvaldības SIA „Rīgas meži”、Latvijas Koka būvniecības klasteris等の会社で、総勢26名の皆様が、4月1日に奈良にある大和ハウス工業株式会社の総合技術研究所と奈良工場を見学されました。



ラトビア名誉領事館を訪問、東郷名誉領事・上野慶三常務理事と記念撮影

翌日の4月2日には、午前中に駐在大阪ラトビア共和国名誉領事館を訪問し、東郷武名誉領事に挨拶をされました。その後、大和ハウス工業の購買担当役員である石橋卓也専務をはじめ購買担当者との意見交換会を行い、日本への輸出の可能性に興味を示しておられました。

午後は、越井木材工業株式会社(大阪市)の工場を見学した後、大阪木材会館にてラトビア木材製品の紹介及び商談会が開催され、各社の代表が自社製品についてプレゼンテーションを行いました。



大和ハウスの石橋卓也専務からご挨拶



大阪木材会館にてラトビア木材製品の紹介及び商談会を開催

## 【ラトビアトークサロン】 イエヴァ先生の送別会 2014年4月6日

大阪大学に留学中だったイエヴァ先生がアメリカの大学に戻ることになり、東郷名誉領事はじめラトビアトークサロンでお世話になったメンバーの8名が集い送別会を行いました。神戸・須磨浦公園にて美しい桜の花を愛でながら東郷久野さんによって頂いた美味しい料理を楽しみ、イエヴァ先生との別れを惜しみました。

その日の天候はとても気まぐれで、晴れていまと思えば急に雨が降ったりやんだり、また霰か降ったりもしまして驚きましたが、そんな天候にもめげず、参加者はとても楽しい時間を過ごすことができました。

また4月14日に行われた、イエヴァ先生による最後のラトビアトークサロンでは、メンバーから感謝の気持ちを込めて和風オルゴールをプレゼントしました。イエヴァ先生、オルゴールを見て、日本のことを思い出して下さい。また来日される日を心よりお待ちしております。



## 姉妹都市提携 40 周年記念 ウシャコフス・リガ市長が来日 歓迎レセプションが神戸で開催 2014年6月12日～14日

ラトビア共和国の首都リガと日本の神戸市は、1974年6月に姉妹都市提携を結び、今年で40周年を迎えます。それを記念して、リガ市からニルス・ウシャコフス (Nils Ušakovs) 市長やリガ動物園の園長、世界中で活躍するラトビアの大人気「アヴェ・ソル」(“AVE SOL”) 合唱団などのリガ市代表の方々が来神されました。



リガ紹介展の様子



リガ市と神戸市による展示会開始



ウシャコフス市長、ダナさん、上野さん

12日にリガ動物園と神戸市立王子動物園は動物交流の協力協定を締結しました。またデザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) では、リガを紹介する展示会が開かれ、その後リガ観光セミナーなどの行事が行われました。

12日の朝にはリガの動物園から王子動物園に寄贈された象のズゼが元気な男の子を出産しました。神戸とリガの友好関係を象徴するようにリガ市の代表の皆さんの訪問に合わせた絶妙のタイミングでの出産に、参加した両国の皆さんは感慨深く喜びを分かち合い、これからの友好関係の一層の発展をともに誓いました。



神戸市混声合唱団・リガ室内合唱団アヴェ・ソルのジョイントコンサート

13日の午前中にリガ市の代表が神戸港を訪れました。そして、午後に神戸市混声合唱団・リガ室内合唱団アヴェ・ソルのジョイントコンサートと歓迎レセプションが開催されました。レセプションでは、両市の市長の挨拶や「アヴェ・ソル」の素晴らしい演奏、美しい砂アート、和太鼓の演奏を楽しみ友好関係を深めました。



レセプションの様子



ウシャコフス市長、東郷名誉領事



名誉領事の右は協会理事の濱田諭総ご夫妻久元神戸市長と（右端）



上野さん、桃井かおりさん、寺岡さん



桃井かおりさん、ダナさん



トークショーの様子

最後に14日にラトビアのマリス・マーティンソン監督作、日本の人気女優桃井かおりさんに主演「AMAYA Hong Kong Confidential」(AMAYA 香港コンフィデンシャル)という映画の上映とトークショーが開催されました。「AMAYA」はマリス・マーティンソン監督と桃井かおりさんの初協同国際的プロジェクトです。2番目のプロジェクト「OKI -In the Middle of the Ocean」は今年4月11日にリガの映画館で公開されました。3番目の協同プロジェクトで桃井かおりさんはリガで暮らす神戸出身の女性を演じる予定だそうです。



東郷名誉領事、桃井かおりさん、上野さん



クルークレ・プロデューサー、通訳のダナさん、マーティンソン監督

「AMAYA」がリガで公開された後、桃井かおりさんは2011年に外国人として初めて「リガ市名誉文化大使」に任命され、バルト三国についてドキュメンタリー映画を作ったりして、日本でラトビアのことを知ってもらうようにために活躍してきました。その他に、リガ市の代表が王子動物園などの所を訪れました。リガと神戸の姉妹都市の40周年の記念を迎えて日本側はリガを今年の9月に訪れる予定です。

### 【ラトビア関係書籍の紹介】



#### ダンスシューズで雪のシベリアへ あるラトビア人家族の物語

著者：サンドラ・カルニエテ 翻訳：黒沢歩 価格：3,780円

以前、当協会総会で講演いただいた黒沢歩さんが10年がかりで翻訳された400ページもの大作が2014年3月に出版されました。ラトビアの国連大使や外相を歴任し同国初の欧州委員になったカルニエテ氏が2001年に上梓した半自伝的な小説の翻訳です。

旧ソ連によってシベリアへ強制移住させられた祖父母と両親、そしてシベリアで生まれた著者は4歳の時に祖国ラトビアに戻ります。ソ連の崩壊後に入手可能となった公文書や、家族の日記などをもとに、大国の思惑に翻弄された小国の近代史を自らの体験を踏まえて生々しく綴った興味深い一冊となっています。



#### 絵本「ラトヴィアのおはなし」 翻訳：和爾桃子 文：服部光平

ラトビアの北方に位置するルーイエナ町と北海道の東川(ひがしかわ)町は2008年に姉妹都市となりました。ラトビアにはたくさんの民話が語り継がれてきましたが、ラトビアから東川町に国際交流員として来ているウナ・ヴォルコヴァさんの協力で「ラトヴィア民話集」が出版されています。今回、その中から特に面白い話が、絵本として出版されました。素晴らしいイラストはルーイエナ美術学校の生徒たちによって描かれています。

一般の書店では販売されていませんが、下記東川町役場に一冊1,620円分の切手(送料別)を送ると、郵送してもらうことができます。興味のある方はお問い合わせください。(北海道・東川町役場 代表TEL:0166-82-2111)

#### 【編集後記】

2014年は、ラトビアのリガ市がEUの文化首都に選定され、様々なイベントが開催されています。ぜひこの機会にラトビア・リガを訪れていただきたいと思います。2013年度以降に関西日本ラトビア協会に新規入会(登録者変更を含む)いただいた方は下記の12名です。ご入会を心より歓迎申し上げますとともに協会の活動にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新規入会：岡崎明日香さん 長田実さん 大島茂さん 河野眞一郎さん 桃井猛さん 古川岩夫さん 吉岡孝子さん 寺田昇司さん  
白 雪梅さん 中川照眞さん  
名義変更：山出和史さん 榎本 勤さん (事務局 金井)